

## 女子大生の自粛期間中の美容実態 afterコロナへ向けての美容意識



発行者：坂上真介 編集長：小川泰平  
東京都品川区西五反田8-3-16  
西五反田8丁目ビル4F  
株式会社市場開発研究所  
連絡先：Tel：03-5436-6222  
Fax：03-5436-6232

### 女子大生対象：美容に関するアンケート結果

- 調査方法：WEB調査（某女子大学の生徒40名の協力の下、WEB画面上でのアンケート調査）
- 調査日時：2020年06月15日（月）
- 調査対象：女子大在学中の19～22歳 女性
- 調査数：40人

## ～はじめに～

今回女子大学に通学中の40人の協力の下、アンケート調査を実施しました。コロナウイルスによる外出自粛期間前後のメイク・スキンケア・ボディメンテナンスの変化に着目した調査となっております。

## ～調査目的・仮説～

現代の女子大生は、以前に比べて美容への意識が高いことがメディアやWEB記事・SNSを通しても実感する事ができます。しかし、コロナウイルスによる外出自粛において、外に出る事が出来ず、人と会う頻度が減少したことにより、メイク頻度も減少したことは推察されます。では空いた時間を埋めるべく、美容への意識の高いであろう女子大生はどのようなことを行ってきたのか、という視点で女性のメイク・スキンケア・ボディメンテナンスの実態を把握する為に本調査を実施しました。

- ①自粛期間中メイク頻度の低下  
⇒外出自粛に伴い、人と会う頻度が低下したことにより、メイク頻度が低下している
- ②メイク意向が高まっている  
⇒メイクしていない時期が長期化していることにより、普段よりメイクをしてみたい気持ちへと変化している

## ～調査の流れ～

普段のメイク・スキンケア・ボディメンテナンスについて

### メイク×スキンケアの実態

- ①メイク
- ②スキンケア
- ③ボディメンテナンス  
(マッサージ・ストレッチ・脱毛・筋トレ含む)

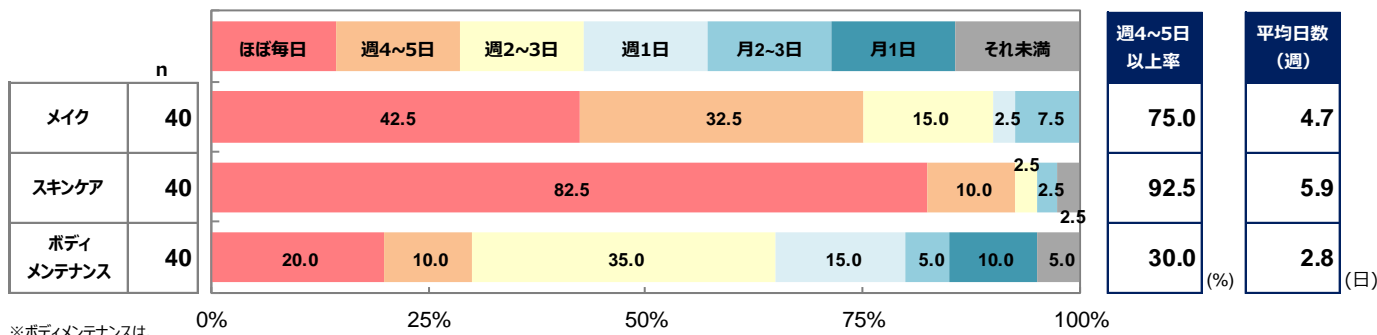


### コロナウイルス期間による変化

- ①緊急事態宣言から緊急事態宣言解除前の期間  
(2020年4月7日～5月25日)
- ②緊急事態宣言解除後～現在の期間  
(2020年6月11日～現在)
- ③今後のモチベーション

# ①外出自粛以前の行動 メイク・スキンケア・ボディメンテナンス頻度

Q7. あなたは普段（緊急事態宣言による外出自粛前）、どのくらいの頻度で下記について行っていますか。（MTSA）



※ボディメンテナンスは、マッサージ・ストレッチ・脱毛・筋トレ含む（以後同様）

※週4~5日以上率は「ほぼ毎日」~「週4~5日」の計

## 肌のお手入れは毎日、外出時にはメイク。ボディメンテナンスは習慣的に行っている者も。

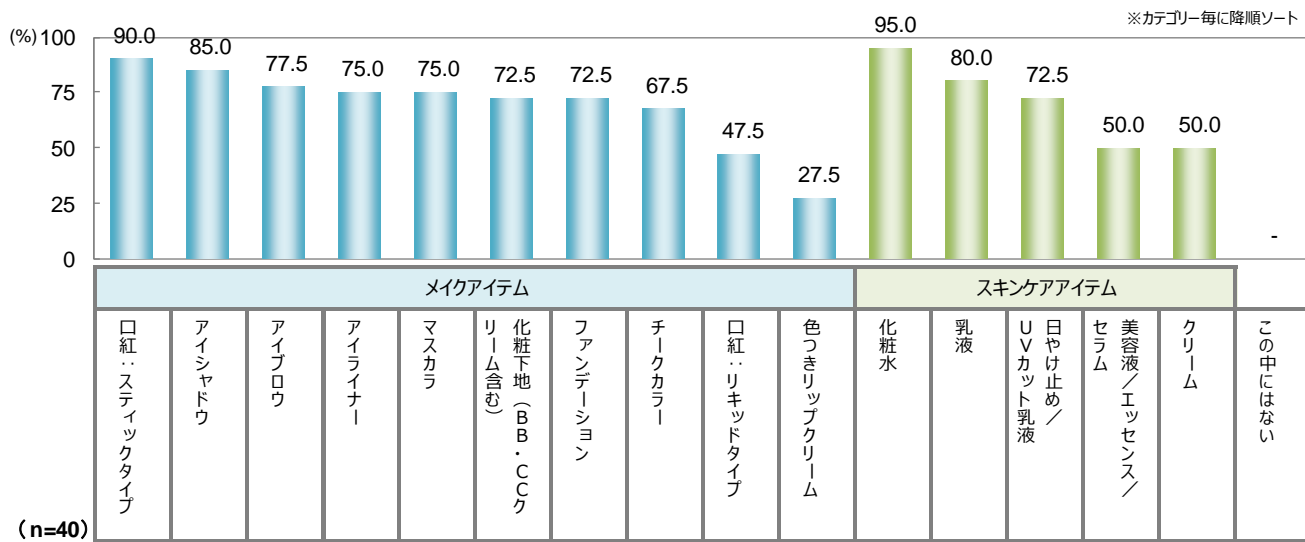
外出自粛以前のメイク頻度について、「ほぼ毎日」が42.5%、「週4~5日」が32.5%となり、週4日以上が7割を超え、**1週間のうち半分以上はメイクをしていました。**  
休日または1日中家にいる日以外の、外出時や人前に出る機会があるときはメイクをしていることが窺われます。

スキンケアについては、「ほぼ毎日」の割合は**82.5%**と8割を超え、週4~5日以上を合わせると大多数となります。肌のお手入れは、女子大生でもほぼ毎日の当たり前として行われていると言えます。

ボディメンテナンスについては、頻度レベルでのグループが感じられます。  
「ほぼ毎日」(20.0%) + 「週4~5回」(10.0%) の毎日習慣派 (30.0%)、  
「週2~3日」(35.0%) + 「週1日」(15.0%) の週数回派 (50.0%)、  
それ以下 (20.0%) と3つのグループに分かれるようです。

# ②外出自粛以前の行動 現使用アイテム

Q6. 以下の中で、あなた普段（緊急事態宣言による外出自粛前）使用しているアイテムを全てお知らせ下さい。（MA）



## 女子大生のメイクアップは目元がポイント。

現使用アイテムでみると、ほぼ毎日のお手入れとして行われているスキンケアでは、「化粧水」(95.0%)、乳液(80.0%)の**ベーシックな2アイテムをほとんどの人が使用**しています、加えて「美容液/エッセンス/セラム」「クリーム」のスペシャルケアもそれぞれ半数の使用となりました。

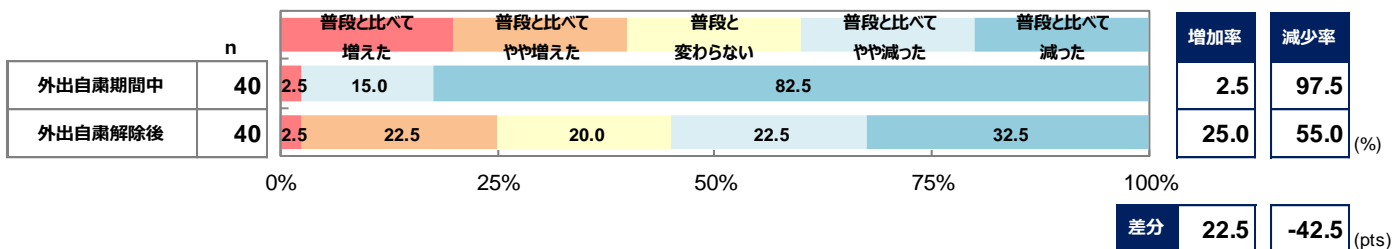
メイクアップをみると、「口紅：スティックタイプ」の使用率が最も高いですが、続いたアイテムは、「アイシャドウ」、「アイブロウ」、「アイライナー」、「マスカラ」のアイメイクアイテムが並びました。**今ドキの女子大生のメイクアップポイントとして、目元を重視する傾向**が表れているかと思えます。

### ③外出自粛期間以降行動 各行動の変化

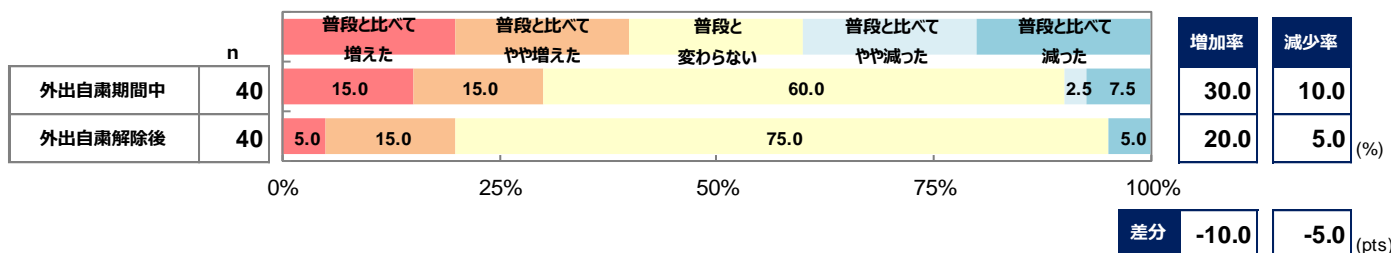
Q8. 緊急事態宣言から緊急事態宣言解除前の期間（2020年4月7日～5月25日）下記の頻度は変わりましたか。（MTSA）

Q9. 緊急事態宣言解除後～現在の期間（2020年5月26日～6月15日）下記の頻度は変わりましたか。（MTSA）

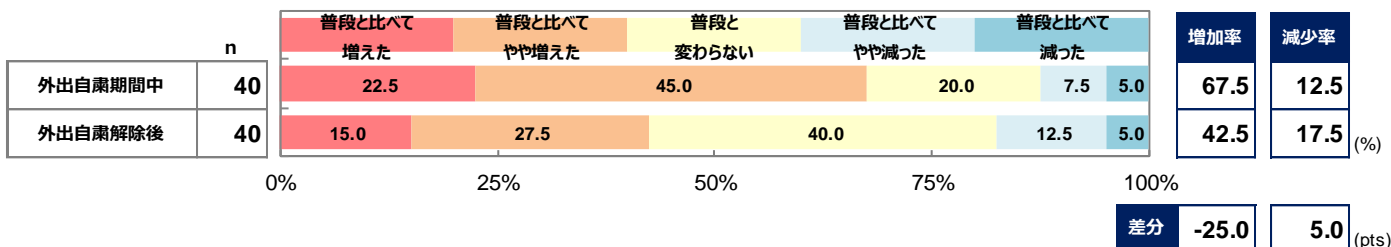
#### ■ メイク



#### ■ スキンケア



#### ■ ボディメンテナンス



※“増加率”は「普段と比べて増えた」、「普段と比べてやや増えた」の計  
 “減少率”は「普段と比べて減った」、「普段と比べてやや減った」の計  
 “差分”は増加計・減少計の「外出自粛期間中」と「外出自粛解除後」の差分

**メイク頻度は外出自粛により減少。一方、ボディメンテナンス頻度は増加。**

#### メイク

自粛期間は、大きく行動変化に影響を与えています。「普段と比べて減った」が82.5%で、明確な減ったという回答が多数を占めます。外出自主期間ということで、**外出がない＝人に会わない・人前に出ない**ということは、**メイクをする・しないという行動に大きな影響を与えた**と思われる。

自粛開場後については、減ったという回答が多数であり、普段と変わらないが2割に留まっています。メイクアップの基準を外出、人に会うとすると、まだ日常、正常な行動には戻っておらず、今後もどこまで戻るかというのは、コロナウイルスの動向次第と言えます。

#### スキンケア

スキンケアは6割が「普段と変わらない」、3割が増えたということで、自粛期間中も普段通りに加えて、時間ができた分、ちょっとまめなお手入れをするようになった層がいます。

自粛解除後は、**7割が通常に戻っている**ことから、普段通りのスキンケアに戻りつつあります。

#### ボディケア

外出自粛期間、増加率が約7割と大きく上がりました。家にいるだけ＝不摂生＝なにかやらなきや、という気持ちと、時間的な余裕ができたからでしょうか。

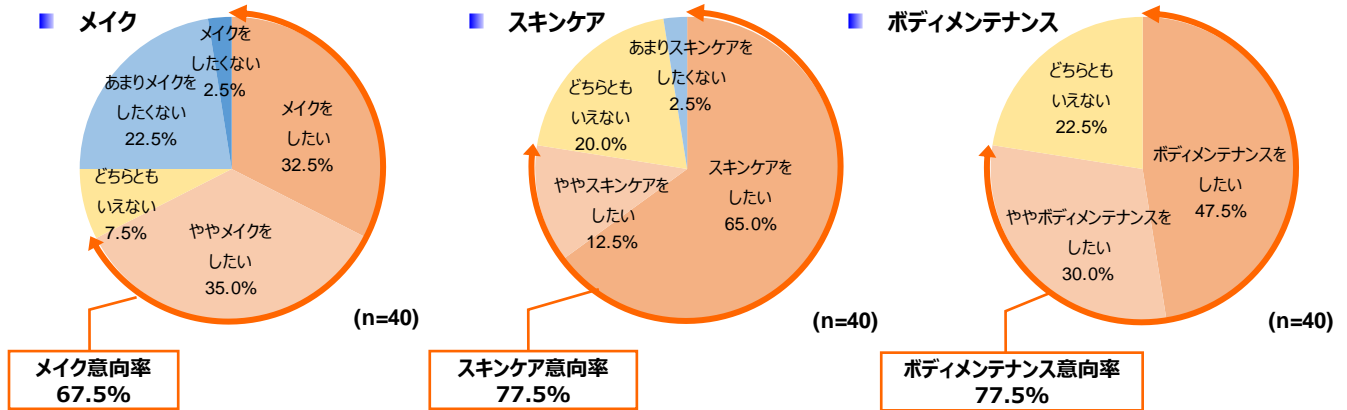
解除後も増えた層が4割ということからも**一定数は、増加した状態から、自粛解除後にも残っている**ようです。

## ④各カテゴリ毎の今後のモチベーション

Q10. 緊急事態宣言解除後の、今後のメイクのモチベーションをお知らせください。(SA)

Q12. 緊急事態宣言解除後の、今後のスキンケアのモチベーションをお知らせください。(SA)

Q13. 緊急事態宣言解除後の、今後のマッサージ・ストレッチ・脱毛・筋トレなどボディメンテナンズのモチベーションをお知らせください。(SA)



※“意向率”は「メイク/スキンケア/ボディメンテナンスしたい」、「ややメイク/スキンケア/ボディメンテナンスしたい」の計

### ボディメンテナンズの意向率は8割台。メイクは離脱も。

メイク意向について、他の2項目と比べると非意向率が他の項目と比べるとやや高く25.0%となりました。このことから、4人に1人はメイク離脱層がいることがわかります。

スキンケアについては、外出自粛以前の頻度が高いことから、意向率は非常に高いようです。特にTOPBOXの値は最も高い数値でした。

ボディメンテナンスについては、意向率は8割と高く、本調査では非意向者の出現はありませんでした。これは、外出自粛期間の頻度の増加による継続意向や、外出自粛期間の運動不足の影響がもたせません。

## ⑤自由回答抜粋：メイク意向理由

Q11. 上記のように回答した理由を、どんなに些細なことでも結構ですので、出来るだけ詳しくお知らせください。

メイク意向	自由回答抜粋 (オレンジ=ポジ：青=ネガ)
メイクをしたい	自粛期間中にYouTubeなどでメイクの新しい方法などを見たのでそれを実践したい気持ちがあります。
メイクをしたい	緊急事態宣言中にたくさんオンラインでコスメを注文したので。
メイクをしたい	メイク力が低下してきている気がするので、マスクをしていてもフルメイクをしたいなと感じます。
メイクをしたい	気分が上がるから。
ややメイクをしたい	普段はしないメイクに挑戦してみたい。たまに授業で顔出ししたりするので暇だから
ややメイクをしたい	なくなりかけてた化粧品を買いに行く予定なので新しい化粧品を使えることが楽しみです。
ややメイクをしたい	外出は増えるが、マスクに化粧がつくから。
ややメイクをしたい	毎日やっていたのにしばらくメイクしてないので下手になりそうで心配
ややメイクをしたい	大学が始まったら、メイクを始めたいと思っています。 今は外出する機会が減っていて目つマスクもしているので、メイクするモチベーションは下がっています。
どちらともいえない	メイクをしたいとは思いつけど、緊急宣言後にする機会が減ったのでめんどくさいという気持ちもある。
あまりメイクはしたくない	メイクをしなくなって、肌の調子が良くなったので、悪化させたくないから。
あまりメイクはしたくない	メイクがめんどくさい、かなり期間が空いてやっていないので出来るか不安

### メイク力への不安や、マスク着用時のメイクに関する回答が挙がる。

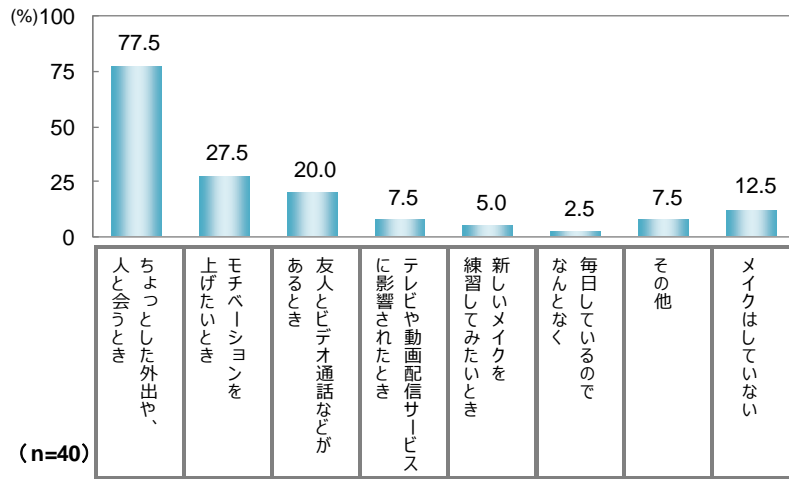
メイク意向理由について、気分が上がるからなどの回答は多く見られました。他にもメイク動画による影響や、自粛期間中のオンラインショッピングでコスメを購入、普段はしないメイクに挑戦など興味深い意見もあがりましたが、今回注目したのは“メイク力の低下”及び“マスク”というキーワードです。

“メイク力の低下への不安”は、メイク意向の助長/メイク意向の低下どちらも繋がっていることから、必ずしもネガティブな要素だけではなさそうです。

また、別の視点からみると、マスクに関する回答もいくつか見つけることができました。実際、マスク越しにメイクへの抵抗感や、メイクの練習の良い機会と捉える人など様々でした。暫くの間、マスク着用義務が継続していくことを考えると、マスク着用時も映えるメイク、マスク使用時もたつかないメイク、目元を意識したメイクなどが今後のテーマとなりそうです。

## ⑥外出自粛期間以降のメイクする時・気持ち

Q14. あなたが、緊急事態宣言から現在（2020年4月7日～現在）までメイクをした時はどんな時・どんな気持ちでしたか。あてはまるものをすべてお知らせください。（MA）



メイクは外出時や人と会う時にするもの。モチベーションがあがる人も一定数いる。

外出自粛期間以降のメイク理由について、「ちよつとした外出や、人と会うとき」が突出して高く77.5%。次いで、「モチベーションを上げたいとき」、「友人とビデオ通話などがあるとき」が2割台となりました。「モチベーションを上げたいとき」が他の項目より高く、「毎日しているのになんとなく」は非常に低い結果となりました。メイクは人と会う際や、モチベーションを上げる為に気持ちを切り替えるきっかけになっていて、情性でメイクしているという人は少なそうです。

## 調査結果まとめ

	外出自粛期間前（普段）	外出自粛期間中	外出自粛解除後	今後のモチベーション
メイク	外出時を中心に週4~5日程度。半数以上は、肌の休息日を取っている。化粧アイテムは目元中心。	頻度の低下が顕著に表れる結果に。	外出自粛期間前の頻度に戻りつつある傾向はあるものの、以前の頻度に戻るには、まだ時間はかかる。	他の2項目と比較すると、やや低い。メイク意向者は7割程度と高い。メイク技術やマスクが不安材料。
スキンケア	メイクよりも頻度が高く、基本的に毎日行っている。	外出自粛期間前より、頻度はやや増加している。元々の頻度が高いことから、より丁寧に行っている。	外出自粛期間前の頻度に戻りつつある。	意向率は約8割と高い結果。継続意向が現れた結果。
ボディメンテナンス	上記2つに比べると頻度は低いものの、習慣的に行っている人が8割程度。	外出頻度の低下に反比例して、頻度が増加している。	外出自粛期間中の頻度に比べて、やや減少しているが、外出期間前の頻度の比較すると増加している。	意向率は約8割と高い。外出自粛期間中の運動不足の解消に。

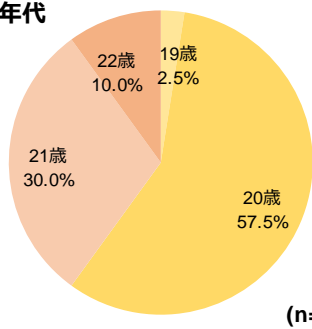
メイク・スキンケア・ボディメンテナンスの実態を期間別に追っていくことにより、各カテゴリ毎の変化を分析することができました。基本的には、普段の美容頻度は高い傾向にありました。しかし、外出自粛期間中、外出自粛期間解除後の傾向はカテゴリ毎の違いがあり、特にメイクの頻度は、人に会う頻度が減ったことから大きく減少していました。今後のモチベーションという視点で見ると、全カテゴリを通して非常に高い傾向となり、女子大生の外出自粛期間明けの美容に対するモチベーションは、非常に高いと言えます。

本調査時に実施した、対象者プロフィール及び、外出自粛期間～期間後の行動については、次ページに付表として掲載させていただきます。

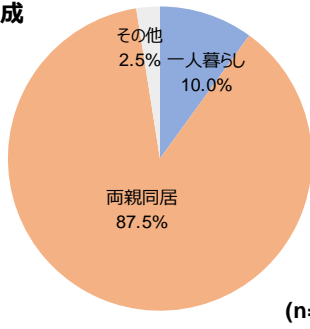
# 付表：対象者プロフィール

F1. あなたの年齢をお知らせください。(FA) / Q1. あなたの現在の同居人をお知らせください。(MA) / Q2. あなたは現在仕事(アルバイト含む)をしていますか。(SA)

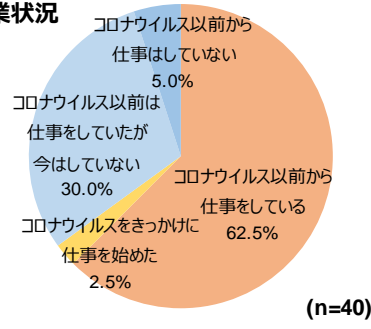
## 年代



## 家族構成



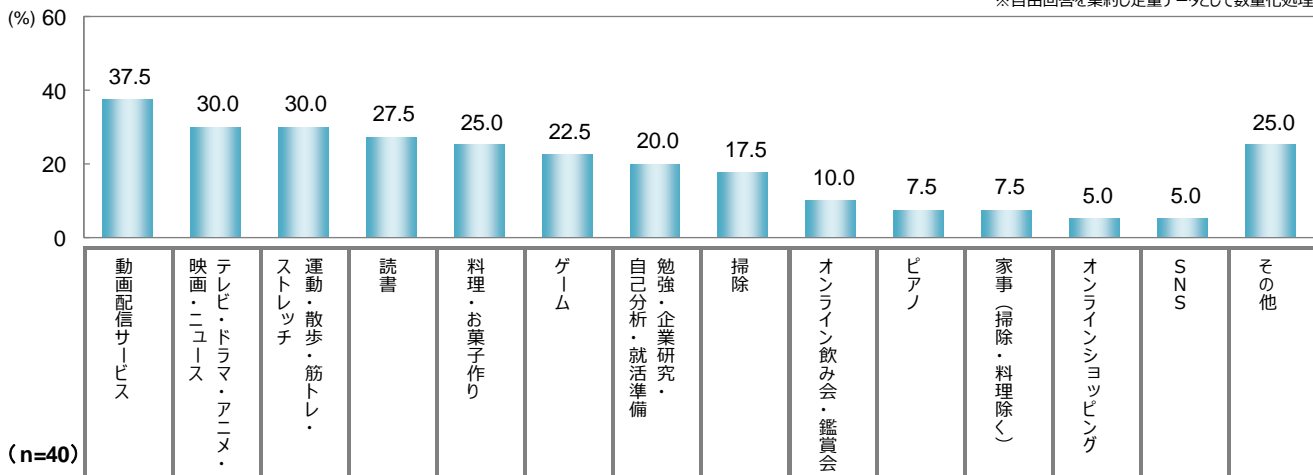
## 職業状況



# 外出自粛期間の過ごし方

Q3. あなたが、コロナウイルスによる緊急事態宣言から現在まで空いた時間を活用した方法や、時間をつぶした方法、自宅で新たに取り組んだ事柄など、どんなに些細なことでも結構ですので、出来るだけ詳しくお知らせください。(FA)

※自由回答を集約し定量データとして数値化処理



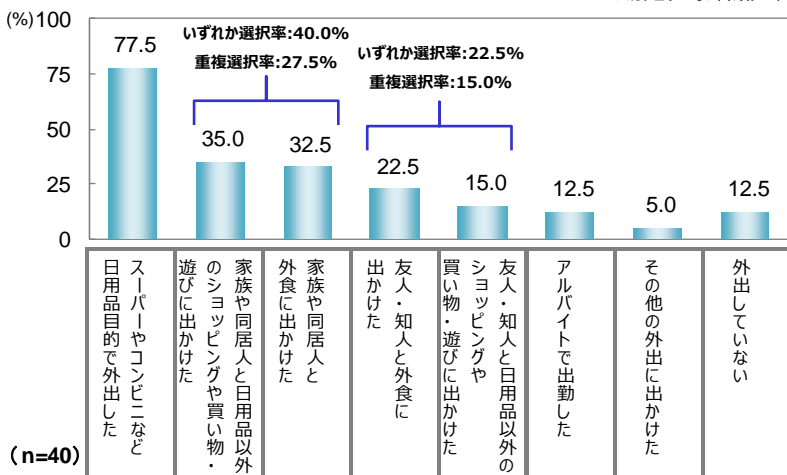
コロナウイルス期間の過ごし方は、「動画配信サービス」、「テレビ・ドラマ・アニメ・映画・ニュース」、「運動・散歩・筋トレ・ストレッチ」が上位3項目となりました。**メディアサービスが上位を占めている一方、自粛期間中でも軽い運動をしている人も一定数いたことから、美容への意識を垣間見ることができました。**大学生ならではの視点では、「勉強・企業研究・自己分析・就活準備」など、自粛期間が明けた後の就職活動を見据えて、準備するような動きも見えました。今回の調査では女子大の学生ということもあり、「オンライン飲み会・鑑賞会」の数値はあまり高くない一方、「料理・お菓子作り」や「掃除」など**家事への反応が強い結果**でした。

# 外出自粛期間後の外出行動×緊急事態宣言解除後に解禁したものの

Q4. あなたの緊急事態宣言解除後の外出についてお知らせください。(MA)

## 外出自粛後の外出行動

※カテゴリー毎に降順ソート



外出自粛期間後の行動について、「**買い物(日用品目的)**」が**突出して高く、約8割**。「**家族・同居人との買い物(日用品以外)**」、「**家族・同居人と外食**」が3割で上位3項目となりました。

調査実施日2020年6月15日時点では、友人・知人の外出は22.5%に留まり、「外出していない」が12.5%いることから、一定数はコロナウイルスのアウトブレイク再来の危機を感じ、現段階では、友人・知人との外出の自粛を継続していることがわかりました。